

テーマ

学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども

目標

地域と連携して、学校園の環境を整え、地域交流を深める。

今年度の取組紹介

昨年度も、「学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども」というテーマで取り組み、校区の佐紀幼稚園、都跡幼稚園、都跡小学校、都跡中学校で、それぞれ協力しながらテーマの実現を図りました。また、緑あふれる美しい学校園にするため、「ゴーヤカーテン」やさつまいも、葉ボタンの栽培やトマトづくりもおこないました。また、読書大好きな子どもたちを育てるために幼稚園や小学校では、ボランティアによる読み聞かせ活動を行い、小学校と中学校では、季節ごとに図書の飾り付けを行い、図書の環境も整いました。また、「ふるさと大好き」の取組として、「第三回都跡ふれあいまつり」を9月28日（土）に開催しました。小学校の体育館で、中学校吹奏楽部、小学生マーチングバンドの演奏を中心に文化交流を行い、中学校美術部の作品も会場に展示されました。また、今年度は、校区の奈良朱雀高校和太鼓部の迫力ある演奏も登場しました。また、7月には公民館との共催でスマートフォンの研修会を、11月には読み聞かせ研修会を、1月にははじめ事件に学ぶ人権講演会を実施しました。2月には、コーディネーターと地域ボランティアによる地域教育協議会交流会を開催、また幼稚園や小学校は「ありがとう集会」を開催し、研修や交流を図り大好評でした。これらの取組を通して、地域と学校が一体となり活動を行うことができました。



今年度のまとめ

「第三回都跡ふれあいまつり」を通して、文化交流を図ることができ、新しいコーディネーターの加入もあり活動は充実しました。また、地域コーディネーターやボランティアの協力によって、学校園は一段と美しくなり、学習する環境が整いました。一方、ホームページ等を通じた広報活動が進み、より地域教育活動が浸透しました。

来年度に向けて

地域ボランティアの高齢化が進んでいるので、若い世代のボランティアの協力をすすめていくことが必要です。また、教職員への啓発のために地域コーディネーターとの交流の場をもつことが必要であると思います。地域コーディネーターやボランティアの積極的な活動によって、都跡中学校区の各学校園では、地域教育力が大きな支えとなっています。また、教育環境が整えられ、「地域の学校園」（都跡の住民が創っていく学校園）をめざし、成果も上げています。そのような中で、地域教育力の再生や地域コミュニティの活性化を図ることが重要だと考えます。

テーマ

見つけよう地域の宝物 つながろう地域の人々

目標

地域の人々との交流を通して、地域の素晴らしさを見つける

今年度の取組紹介

これまでも、コーディネーターを中心としたボランティア活動の取組があげられますが、特に樹木の剪定、芝刈りや雑草の片付け、ゴーヤのグリーンカーテンづくり、パンジー・マリーゴールド・葉ボタン・さつまいも等の園芸美化作業があります。中でも、夏休み中に行われる美化作業では、生徒、PTA、都跡おやじの会と一緒に学校内の清掃活動を行いました。特に中庭の樹木は見違えるように美しくなり、参加した生徒たちもあまりの美しさに感動しています。また、本校の吹奏楽部は「第三回都跡ふれあいまつり」で小学校マーチングバンドと一緒に合同演奏をしたり、幼稚園児を本校に招いてふれあいコンサートを行いました。また、奈良東養護学校へ演奏に出向いたり、中学3年生が都跡、佐紀幼稚園の各園で2回にわたって保育体験をしたり、生徒会有志が清掃活動やスポーツ交流を行っています。また、中学2年生が地域で職場体験学習を行ったり、中学1年生が「職業人に学ぶ」を実施しました。このように、積極的に地域に出向くことを行うことで、地域の人々との交流が深まるとともに、地域の人々の素晴らしさや地域の素晴らしさを発見することができました。



今年度のまとめ

都跡中学校は、校区に平城宮跡、薬師寺、唐招提寺の3つの世界遺産があり、世界遺産とともに郷土を知り、郷土に誇りをもつ生徒を育てようと取り組んでいます。そのような中、地域の方々が学校のために積極的に地域コーディネーターとして、またボランティア活動として、参加していただき、地域と学校が協働で取り組む活動をすすめています。地域の方々とふれあうことで、生徒の中に自分も地域の一員であるという自覚が生まれています。また、学校評価では「ボランティアの協力を得て教育環境が良くなっている。」という質問に対して、保護者の92%、教職員の100%が肯定的でした。

来年度に向けて

地域ボランティアが気楽に参加できるような企画を計画検討し、推進していくことで一層の協働を図りたいと考えています。また、生徒が校外に出向くことで、地域の宝物を発掘していきます。

テーマ

世界遺産の地で、ふれあいつながり輪になって

目標

都跡で暮らし、都跡で学び、都跡を学ぶ

都跡らしい教育活動を展開する中で、一人一人の児童の良さを伸ばすとともに、都跡を愛する心を育てる。

今年度の取組紹介

- 平城宮跡オリエンテーリング（4年生）：世界遺産学習事業
学校から歩いて2～30分の距離にあり、低学年の時は生活科の学習で虫取りに出かけたり、近所の遊び場として親しんできた平城宮跡です。事前学習として、その大切さと、保存に努力されてきた人の話を地域の方からお聞きしました。その後、地域ボランティアの方の見守りと案内を得て、小グループに分かれて平城宮跡内をオリエンテーリング形式で見学・学習しました。



- 昔遊び体験（1年生）：ふれあい体験事業
地域のお年寄りの方に来ていただいて、コマ回し・お手玉・おはじき・あやとりなどの昔遊びを教えていただいて、一緒に楽しみました。核家族でおじいさん・おばあさんとなじみの少ない児童も、お年寄りの方のやさしさや気遣いに触れ、気持ちが温かくなるような楽しい時間を過ごすことができました。



今年度のまとめ

- ・ 「世界遺産学習事業」「ふれあい・栽培体験事業」「読書推進事業」「環境整備事業」「生命の学習事業」と、5つの分野で取組を進めてきました。どの事業についても、地域の方がゲストティーチャーやボランティアとして児童の活動にかかわってくださり、教室での教科学習とは違って、「人のぬくもり」や「地域の温かさ」などを感じることができました。
- ・ 普段お世話になっている地域の方をお招きして、「ありがとう集会」を今年度初めて実施しました。220余名の方に声をかけさせていただき、そのうち105名の方が来てくださいました。児童は、自分たちが多くの地域の方々に支えられ、見守られていることを実感できました。学校評価のアンケートでも、90数%以上の多くの児童・保護者がそのことを実感していることが分かりました。

来年度に向けて

- ・ 地域の方（コーディネーター・ボランティア）と校長・教頭とのつながりはできていますが、一般教職員とは一部を除いてなじみが薄いです。来年度、そんな地域の方々と一般教職員とをつなぐために、懇談会的な集まりを実施したいと考えています。

テーマ

子ども自ら遊びを創る！

目標

地域の教育力を活用し、異世代の交流を深めながら社会の中で必要なコミュニケーション能力を高める。

今年度の取組紹介

○『トマトプロジェクト活動』

地域のボランティアの方のご協力でトマトづくりをしました。

去年に引き続き、畑の作り方から、植え方、育て方など丁寧に教えていただき、子どもたちは色づいたトマトを完熟カードで見比べながら 145 kg収穫しました。昨年の年長児の活動を見ていた今年の年長児も「ジュースにしたい」という思いをもち、「そして、みんなに飲んでももらいたい」と売ることを考え、450本のジュースができました。小学校のふれあい祭りで地域の方に買っていただく機会をもち、店や看板づくりなど自分たちで考え工夫しました。ジュースの名前は「去年と同じはあかん。」と考えたことを出し合う『プレゼンテーション』を園全体で行い、『みあとっこジュース』と決めました。売上金は『奈良鹿愛護会』へ集めたドングリと共に寄付をし、また震災に遭われた宮城県多賀城市の幼稚園に寄贈しました。保護者や地域の方々にも認められ、自信をもって長期にわたり、この活動に取り組みました。



今年度のまとめ

○子どもたちは、去年の取り組みを見ていましたが「今年は自分たちのやり方でやりたい。」とトマトを売る時に、去年とは違う方法を自主的に考えようとしていました。また、保護者と共に夏休みにトマトを収穫したり、『鹿寄せ』に行ったりしたことで、これらの活動を通して「社会の仕組みにふれるよい機会となった。」「世界遺産学習にまで、つながるのですね。」と保護者の方の理解が深まる声が聞かれました。また、ホームページや新聞、報道などによる広報をしたことで、より広く地域の方からの認められる声が聞かれました。

来年度に向けて

○地域の方の協力があってこそ、これらの活動ができた実感しました。子どもたちは、一人一人が充実感を味わい、認められていくことで自己肯定感をもってこれらの活動を進めることができました。自分の心が満たされ、相手を思いやる心の豊かさにつながり、日々の遊びや生活の中でも、主体的に取り組む姿が身についてきました。来年度は佐紀幼稚園と統合され『認定こども園』となります。さらに保護者や地域の方との連携を密にして、幼稚園教育に理解を示していただけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

さまざまな人的・継続体験活動を進めていくなかで、社会適応能力を育む。

目標

集団生活におけるルールを理解や場の状況を把握する力を身に付ける。
心が動く体験のなかで豊かな心を育む。

今年度の取組紹介

都跡幼稚園との交流

「都跡幼稚園」と「佐紀幼稚園」の統合で、子どもたちに円滑な進級が得られるように交流の場を増やしました。子どもたちと都跡幼稚園に行く・佐紀幼稚園に来ていただく・鹿苑へ行くなど交流の場を持ちました。回を重ねるごとに子どもたちは都跡幼稚園の友達や先生に会えることを楽しみにしたり、名前を言い合ったりして、親しみも増し生き生きと自己表現することができ、豊かな学びの場となりました。子どもたちが楽しみに、「認定こども園都跡幼稚園」へいくことが期待に変わり良かったです。



ありがとう集会

今年で閉園ということから支援ボランティアをはじめ、民生委員・万年青年クラブの方・独居老人の方々との交流をもち、ゲーム遊びをした後、手づくりチョコレートを渡し、その後ランチルームにてぜんざいをいただき交流を深めました。回を重ね交流をもったので、子どもたちは人と関わる心地よさや温かさを感じるとともに、自らコミュニケーションをとるなど自己表現する場となり、生き生きと活動する姿となりました。



今年度のまとめ

地域で取り組む「都跡ふれあいまつり」では、手作り石鹸をつくり、多くの人に喜んでもらう経験を味わい、つくって良かったと思える子どもたちの自尊感情を高める場となりました。また、閉園に際し佐紀幼稚園の沿革リーフレットづくり・広報紙配布など地域の方々や自治会の方々の協力を得ることができました。

来年度に向けて

次年度は閉園であります。地域の幼稚園であったことを誇りに思える幼稚園として、語り継がれることを願います。